



木葉小便り

令和5年9月20日(水)発行
文責 校長 吉野 新吾

風は見えないけれど 風のすがたは なびく草の上に 見える

風を感じることはできても、目では風を見ることが出来ません。この詩は、草をなびかせることで見えない風の存在に気づくことを示しています。

「大人は見えないけれど 大人のすがたは 子供の姿に 見える」と考えることもできると思っています。子供の言動から家庭の姿が見えることがあります。学校においては、担任の言動に似てくることを感じることがあります。

「子供は大人が言うようにはしないが、大人がするようにする」という言葉を考え、親としての責任、指導者としての責任をしっかりと自覚していきたいものです。



正しい勇気をもって ~4年2組 道徳研究授業より~



私はこう考えたけど・・・



どんな気持ちかな？



発表します！

本年度の研究テーマ「主体性・協働性・規範性の育成」実現のために、9月8日(金)道徳の研究授業(4年2組:小松教諭)を行いました。本校職員みんなで考えた授業を外部の眼を通して指導してもらえるように、甲佐小の赤星桂子教諭(県スーパーティチャー)を招きました。

子供たちも、経験の中で何が正しいかは分かっています。だけど「何か言われるかも」「自信がないから・・・」と悩む気持ちもあります。授業が進む中で、勇気をもって行動すると「スッキリした、安心した、よかった」という言葉が出てきました。子供たちと教師が一体となって学ぶ素晴らしい授業でした。子供たちも小松教諭も輝いていました。

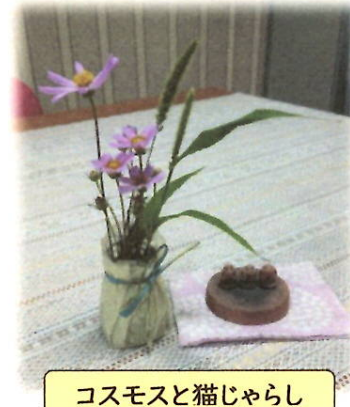
週に1時間、道徳の時間があります。その中でしっかり自分を見つめ、よりよい生き方を見つけたいと思っています。もちろん授業以外の日々の学校生活の中でもしっかりと「主体性・協働性・規範性」を身に付けていって欲しいと思っています。

花のある風景 ~学ぶ環境を整えること~



教育の場として、校内の環境は重要だと考えています。右の写真は、9月12日の校長室の様子です。さり気なく飾られていた花を見て(あ~秋が来たんだなあ)と心が癒やされていることに気がきました。

当たり前のように校内のいたるところに花が飾られている環境に感謝しています。誰かがみんなのために動いてくれているのです。



コスモスと猫じゃらし